



この地球上で、この場所で
こうして出会えた奇跡に感謝
こうしてかわり合うことが
できる縁を大事にしましょう

平戸市立大島中学校
令和2年度学校だよりNo.20
令和3年2月17日
文責 校長 吉尾直樹

リズムダンスの活躍について表彰を受けました

2月14日 市表彰式

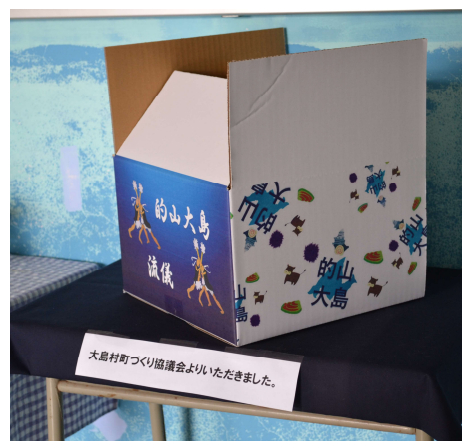
リズムダンスふれあいコンクールでの文部科学大臣賞の活躍に対して、平戸市から学校文化スポーツで顕著な成績を収めたとして表彰していただきました。また、長崎県の文化スポーツ表彰も受け、賞状が届いたことから16日に生徒に紹介しました。

この日は子ども県展の賞状も届いたことから生徒たちに渡しましたが、前に紹介した知事賞や特選だけでなく、多くの生徒が入選し、中には絵画部門、デザイン部門、立体部門のそれぞれで賞状を手にした生徒もいます。自分の思いを素直に表現することができる、この大島の生徒たちの素晴らしいところだと思います。



それぞれの面に子どもたちの大島への思いが

大島の良さをアピールする段ボール



前述の子ども県展の知事賞や入選作のデザインを生かして、段ボールを作成していただきました。この段ボールで送ると、相手に大島の良さを伝えることができますね。

私たちは大島のことについて公民館、漁協、地域の方からたくさん学んでいます。その中で感じた大島の良さや課題を考え、多くの人に良さを伝えたり、意見を述べたりすることは、これからの大島を愛し、支える上でとても大切です。本校では次年度から、コミュニティ・スクールで取り組んでいるふるさと教育の内容を生かし、島外の人への交流や発信を計画しています。あな

たなら、この段ボールに何を詰めて相手に送りますか？

長年にわたって私たちの学習を支えています

無人購買部のこれからを考える

職員室の横にある無人購買部。その年齢は何と私と同じ。兄弟を見るような思いです。自分で必要なものを自分でとって購入して、お金を払うというシステムで、本校だからできる仕組



みかもしれません。保護者の中にも本校の卒業生がいらっしゃると思います。が、何を買いましたか。

さて、その無人購買部も時代の変化とともに購入する人も少なくなり、この2年は年間で2,000円ほどの購入金額で、購入者も5～6名となっています。無人購買部の品物も日焼けして色あせてしまい、購入する場合は別の場所に置いてある品物を生徒に渡しています。また、購入している品物は、校章、ノート、半紙が中心で、多くのポケットもカラであり、ラベルもはげています。この購買部について、次年度にはその存廃を含めてどのようにすべきか、子どもたちや保護者の皆様に意見を聞きたいと考えています。



今日は雪が舞い、とても寒い一日でしたが、学校前の花壇は色とりどりの花を咲かせ、暖かさを届けてくれています。生徒たちが毎日の水やりをするとともに、学校用務員の柳田さんが、丁寧に世話をしてくれています。鉛色の空の下でも、こうした色があると元気になります。